

公益社団法人 日本交通計画協会

平成28年度 定時社員総会議事録

1. 開催日時 平成28年9月26日(月) 11時00分より12時00分まで
2. 開催場所 ホテルメトロポリタンエドモンド  
3階「春琴」の間  
所在地：東京都千代田区飯田橋3-10-8
3. 社員現在数 103名
4. 定足数 52名
5. 出席社員数 77名(内議案議決書提出者33名)
6. 出欠状況 別掲のとおり

7. 議案

- 報告事項 第1 平成27年度事業報告
- 議決事項 第1号議案 平成27年度計算書類及び財産目録の承認の件  
第2号議案 役員年報酬限度額総額の承認の件
- 報告事項 第2 平成28年度事業計画書  
第3 平成28年度収支予算書

8. 会議の概要

(1) 定足数の確認

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の社員総会は定款第17条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

(2) 代表理事挨拶

代表理事谷口守より開会にあたっての挨拶が行われた。

(3) 議長選出

事務局は、定款第15条により本会議の議長は代表理事が務めることとなっていることを説明し、代表理事谷口守は本会議の議長を務めることとなった。

#### (4) 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第20条第2項により議事録署名人は次の7名となった。

- ・代表理事 谷口守（議長）
- ・代表理事 中田康弘
- ・業務執行理事 石川雅康
- ・理事 岸井隆幸
- ・理事 川畑信之
- ・理事 飯塚義和
- ・理事 石川次男

#### (5) 議案の経過及び議決の結果等

報告事項として以下について報告を行い、また承認事項として以下の議案について承認を諮った。

### 報告第1 平成27年度事業報告

#### 第1号議案 平成27年度計算書類及び財産目録の承認の件

議長は上記報告事項及び上記議案につき一括して説明を求めた。事務局は、別掲議案書により、平成27年度の事業報告の説明を行った。平成27年度の社員異動状況、社員総会開催、理事会開催、刊行物等発行状況、講習会・シンポジウム等開催状況、技術者研修実施状況、海外調査、広報関係、国際会議・催し物等開催協力状況、研究部会活動、自主研究活動、受託調査研究事業状況を説明した。平成27年度はこれまで行ってきた事業を展開しつつ、公益法人として公益事業の更なる充実を図るべく、平成26年度から新たに実施している公共交通を主体としたミニセミナーを、エッセンシャルセミナーと称し年4回実施した。また公益活動の一環として、今後も重点的に活動できるよう海外展開にも力を入れてきた。研究部会については、新交通システム研究部会において研究活動、体制拡充のための検討を行い、その他の研究部会においても精力的に調査、研究活動を実施した。自主研究については、都市交通に関する最新のテーマを4分野取り上げ、研究活動を行った。また、平成27年度の受託調査研究事業の受託状況については、最終的に60件の受託となったことを報告し、この件数は受託契約時期を基準に計上したものであり、平成27年度決算に算入されている受託契約件数とは一致しない旨説明した。

議長は引き続き、第1号議案につき説明を求めた。事務局は別掲議案書に

より、平成27年度計算書類について説明を行った。平成27年度は、正味財産増減計算書上では、前回の決算状況と同程度の収入・支出額となった。これに加えて、複数の受託調査研究事業案件の工期が延長されたことにより、収入計上することができなかったという事情があり、その結果が数字にも表れた状況となった。しかし、今期の結果は、事業の失態や不必要な資金投入によるものではなく、工期延期により計上できなかった受託額から直接経費等の費用を差し引いて考えると、実質的には支出超過ではないと思われる旨説明した。また、協会の調査研究事業の受託状況について公益法人移行時の平成25年度と比較すると、受託契約金額は1億円以上増加していることから、次年度以降の状況には特段問題がないと考えており、次年度も引き続き公益法人としての公益事業に積極的に取り組むとともに、法人としてある程度の収益を確保していきたい旨説明した。

また、9月1日に曾田監事、須原監事による業務監査及び会計監査を行い、監査の結果、特段の問題なしとの報告を曾田監事より受けた。

議長は報告第1及び第1号議案につき議場に意見を求めたところ、特段の質疑、異議が提出されなかったことから、改めて採決を諮ったところ、出席社員全員一致で承認した。

## 第2号議案 役員年報酬限度額総額の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。事務局は、別掲議案書により、平成28年度の役員年報酬限度額については、理事会で承認を受けた平成28年度予算における計上額と同額である旨説明を行った。

議長は議案につき議場に意見を求めたところ、特段の質疑、異議が提出されなかったことから、改めて採決を諮ったところ、出席社員全員一致で承認した。

## 報告第2 平成28年度事業計画書

## 報告第3 平成28年度収支予算書

議長は上記2報告事項につき一括して報告を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、平成28年度の事業実施方針と、それに基づく具体的な事業計画について説明をした。平成28年度は平成27年度とほぼ同様の事業を展開するものの、新交通システム研究部会においては、新交通システム

関連技術の海外展開に向けた研究活動の拡充を図る旨説明した。加えて、今年度の自主研究においては、①BRTシステムに関する研究、②次世代地域交通に関する研究、③LRT整備推進支援に関する研究、④新たな街路事業の展開に関する研究、⑤駅周辺地区等における官民連携推進方策に関する研究の5つのテーマについて重点的に取り組む旨説明した。さらに、これらの研究成果を積極的に社会へ還元するべく、セミナーや広報活動等の取り組みを強化したい旨を説明した。

続いて事務局は、別掲議案書により平成28年度の収支予算について以下のように説明した。経常収益については、6億2300万円と予想しているが、これは交通計画研究所において、来期の受託見込み額を計上し、事務局においても平成27年度の実績額を勘案して精査し計上した旨説明した。また、経常費用については、平成27年度の運営実績を勘案し、6億2千万円と予想している旨説明した。最終的な当期一般正味財産増減額は196万5千円となり、前年度予算よりも増加する予想を立てているが、資金的に協会の運営も少し落ち着いてきたこと、公益法人として公益事業により力を入れることができる運営状態になってきたことを踏まえた予算である旨説明した。

議長は両報告につき議場に意見を求めたところ、特段の質疑、異議はなく、出席社員全員一致で了承した。

## 9. 閉会

以上をもって平成28年度定時社員総会の議事を終了したので、議長谷口守は、12時00分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び理事は下記に記名、押印する。

以 上

平成28年 9 月 26 日

公益社団法人 日本交通計画協会 平成28年度定時社員総会

議 長 谷 口 守  
(代表理事)

議事録署名人 中 田 康 弘  
(代表理事)

議事録署名人 石 川 雅 康  
(業務執行理事)

議事録署名人 岸 井 隆 幸  
(理事)

議事録署名人 川 畑 信 之  
(理事)

議事録署名人 飯 塚 義 和  
(理事)

議事録署名人 石 川 次 男  
(理事)

本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事 石川雅康

事務局主幹 大溪はつみ

事務局主事 中村幸人

